

# 地域を守る決意新たに

## つがる市消防団出初め式



寒風吹きつける中、力強い分列行進を披露

### つがる市内の火災発生件数

年	建物	林野	車両	その他	計
平成 23	11	1	1	17	30
平成 24	11	7	1	13	32
平成 25	15	2	4	1	22
平成 26	8	5	1	4	18
平成 27	18	3	2	3	26



訓示を述べる箱田消防団長



万歳三唱で決意を新たにする消防団員



無火災を祈願する福島市長

新春恒例の「つがる市消防団出初め式」が1月10日、市役所周辺で開催されました。

式に先立ち、福島市長と箱田鐵雄消防団長ら消防団幹部が、三新田神社で今年一年の無火災を祈願。出初め式では、雪交じりの寒風が吹きつける中、市内55分団約930人の消防団員が、市役所前の道路を力強く分列行進して防災への士気を高めました。

引き続き、松の館で式典が行われ、福島市長は「防災体制の充実や巡回広報の強化など、市民が安全で安心して暮らせるつがる市の構築のため一層の尽力をお願いします」とあいさつ。

続いて箱田消防団長が「災害の被害を最小限に抑えるため、関係機関と連携を図り、災害現場で迅速な活動ができるよう準備しておくことが重要。団員一丸となって業務に精励してください」と訓示を述べました。

最後に参加者全員で万歳三唱し、団結して地域を守る決意を新たにしました。

# 津軽半島を魅力ある地域に

## おもてなしセミナー&試食・相談会



開発した料理を説明する山際さん(左)



津軽の食材を使用したメニューを楽しむ参加者

### おもてなし丼 (左上から時計回りに)

品名	食材等
蹴つとばし丼	馬肉フライ、カレー
馬旨丼	馬肉、ゴボウ等の煮込み
馬鹿馬丼	馬肉、卵、白髪ネギ
烏賊カース丼	イカフライ
烏賊すり丼	イカのすり身
烏賊アチャラ丼	イカ・野菜の甘酢漬け



味を吟味しながら試食



つがる市産の食材もおいしく加工されました



講演する井上さん



地域資源等の専門家による相談コーナー

1月17日、松の館で「おもてなしセミナー&試食・相談会」が開催されました。

これは、津軽半島全体を魅力ある地域として情報発信していくと、鯨ヶ沢白神グリーンツーリズム推進協議会（永井雄人会長）が主催。観光セミナーが開かれたほか、津軽半島の食材を活用した試食会、地域資源活用等の専門家による相談コーナーが設けられました。

試食会では、会津若松市の(株)山際食彩工房・山際博美社長が、日本海のイカや馬市まつりにちなんだ馬肉など、津軽半島の豊かな食材を活用した「おもてなし丼」6種を提供。つがる市産の「長ねぎを使った「長ねぎのピクルス」など、地元野菜の漬物等も好評を得ていました。

観光セミナーは「いなか価値を創造する」のテーマで、地域再生診療所の井上弘司さんが講師として登壇。井上さんは「津軽は食や独自の文化などの素材が豊富。それらをつましく活用し、地域の人々と交流の場を設けるなど、訪問者に『癒し』を与え、『共感』を得られる環境づくりが大切」と話していました。



年頭のあいさつをする福島市長

## 輝かしい新年を祝う

「つがる市新年祝賀会」が1月4日、松の館で開催され、市民ら約200人が新しい年の門出を祝いました。

福島市長は「合併10年の歩みをしっかりと踏まえつつ、さらなる飛躍を目指し、『(仮称)つがる市総合健診センター』を中心とする市民の健康増進や、イオンモールつがる柏に設置の『市立図書館』による地域の情報・文化の拠点づくりなど『次世代につなげるまちづくり』に向け全力で取り組みます」と年頭のあいさつを述べました。

また、祝賀会には多くの来賓も出席し、代表して三橋一三県議会議員が祝辞。宮本純一商工会長の発声で乾杯を行い、出席者は新年のあいさつを交わっていました。

## 縄文文化の魅力語り合う

縄文文化の魅力を語りあう「縄文語り部世界遺産ミーティング」が1月16日、松の館で行われ、市民ら約60人が参加しました。これは、世界遺産登録を目指す「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の気運を高めるために県が行ったもので、同遺跡群には市内の「田小屋野貝塚」と「亀ヶ岡石器時代遺跡」も含まれています。この日は、県企画政策部の岡田康博参事が世界遺産登録に向けた取り組みを説明。市教育委員会の佐野忠史学芸員は市内遺跡の今後の整備計画などについて報告しました。岡田参事は「遺跡群の価値は十分理解されている。今は世界遺産登録効果の活用戦略を練り上げる段階にきている」と話していました。



世界遺産を巡る状況を説明する岡田参事(右)



交通安全を祈願する桜庭会長

## 今年一年の交通安全を祈願

つがる地区交通安全協会(桜庭修会長)が1月5日、今年一年の交通事故による死亡者ゼロを目指して、三新田神社で交通安全祈願祭を行いました。

祈願祭には福島市長をはじめ、つがる警察署、つがる地区安全運転管理事業主会、安全運転管理者協会、地区交通指導隊などの代表者ら約20人が出席。参加者は祝詞奏上の後、玉串をささげ、交通安全を祈願しました。

最後に桜庭会長が「昨年は残念ながら1名の犠牲者がありました。今年は皆さんが一緒になって事故の皆無を目指し、交通死亡事故ゼロ日の記録を作っていきましょう」とあいさつしました。

## 木造コミュニティ祭りで親睦深める

1月11日、木造コミュニティ実行委員会(白戸英行会長)が主催する恒例の「木造コミュニティ祭り」が木造農村環境改善センターで行われ、約50人の会員が参加しました。

大会議室では、今回初めてニチレクボールに挑戦。チーム対抗で競技が行われ、黄色の的球により近づくよう、ゴム製の赤・青ボールを交互に投げ合い、夢中になって楽しんでいました。他にもトランプ大会や新年交流会が和やかな雰囲気で行われ、参加者は互いに親睦を深めていました。

白戸会長は「人口が減少する昨今、地域のコミュニティが特に重要になってきている。今年も各種活動を通して交流を深めていきたい」と抱負を述べていました。



ニチレクボールを楽しむ参加者

## 首都圏で青森の魅力をPR

県内10市それぞれの芸能や祭り、食の魅力を首都圏でアピールする「あおり10市(とし)大祭典 in TOKYO」が1月16日、東京都中野区「なかのZERO」で開かれました。

ステージでは、津軽民謡と南部民謡の競演や各市長によるふるさと自慢対決が行われたほか、迫力ある映像と太鼓などの生演奏で10市の祭りを紹介。つがる市は、福島市長と応援隊3人が竹乃會の囃子に合わせながら、小型馬ねぶたを披露し、会場を盛り上げました。

また、会場内では十和田バラ焼きや黒石やきそばなどの青森グルメを集めた「あおりビュッフェ」や「10市ゆるキャラ広場」が人気を集めていました。



ステージで馬ねぶたを紹介する参加者



意気込みを話す佐藤さん(中)

## バヌアツ派遣の佐藤さんが表敬訪問

国際協力機構(JICA)ボランティアの本年度3次隊としてバヌアツ共和国に派遣される佐藤ゆかりさん(木造地区出身)が12月18日、出発に先立ち市役所を訪れ、福島市長を表敬訪問しました。

佐藤さんは1月に日本を出発し、2年間滞在する予定。現地では、医療機関での情報管理システムのメンテナンスやプログラム開発における技術指導などの活動を行います。佐藤さんは「関係機関と協力しながら、システムエンジニアとしての経験を生かし、地域のニーズに応えられるよう黒子役としてサポートしたい」と意気込みを話し、福島市長は「病気などに気を付けて頑張ってください」と激励しました。

## 威勢よい掛け声響く つがる剣道協会稽古始め

1月9日、柏総合体育センターでつがる剣道協会(今岡慶三会長)の稽古始めと市体育協会長杯剣道大会が開催されました。この日は、小学1年から中学2年までの約60人が参加。寒さを吹き飛ばすような威勢のよい掛け声で素振りや打ち込みなどの稽古を行い、今年初めてのさわやかな汗を流していました。大会では、巧みな竹刀さばきで鮮やかに一本を決めるなど、選手たちの奮闘で会場は盛り上がりました。

結果(優勝者のみ、敬称略)小1・2男女混合:益田十夢、小3男子:木村牧飛、小4男子:對馬賢都、同女子:益田美咲、小5男子:木村颯也、同女子:對馬玲奈、小6男子:森田緯、中1男子:江良武瑠、中1・2女子:黒滝由輝、中2男子:黒滝大一



選手たちの熱戦が繰り広げられました



巧みなボールさばきを見せる選手たち

## 中学生がフットサルで白熱

12月26、27日、柏総合体育センターで西北五中学生フットサル大会が開催されました。

フットサルとはサッカーに似た5人制の競技で、室内でもプレーできる気軽さと攻守の切り替えが早い試合展開が魅力となっています。大会は、五所川原サッカー協会(高橋弘行会長)が、冬場の体力強化と技術向上を目的に毎年行っているもので、今回は20チーム約150人が参加。大人顔負けの素晴らしいプレーの連続で白熱した試合が繰り広げられ、会場は熱気に包まれていました。

結果は次の通り(優勝チームのみ)1年の部:FCトゥリオール二B(五所川原市)、2年の部:FCトゥリオール二(同)